

西別院だより



小樽幼稚園の母と子の楽しいプール遊び

— 春夏秋冬・年中の保育に週一回プール遊びをとり入れ、母子の心身のきずなが強くむすばれます —

お盆まいり (各家ごとの) は8月7、8、9、10、11、12日にお参りします。

納骨堂の読経 は8月13、14、15、16日 朝8時～夕7時まで。

月忌参り 休み8月7日～17日

盂蘭盆とは

平成元年のお盆が訪れてまいりました。

盂蘭盆とはインドの古い言葉で「ウランバナ」が語源です。「倒懸」といって「逆さに吊される」という。大変苦しい状態をいいます。

十大弟子の一人であった目蓮尊者が神通力をえてのち、亡母の姿を見た時、餓鬼道に落ちて苦しんでいる。この母を救うために水やご飯をはこんでも母が口に入れようとするととき炎となってしまうのです。

目蓮はその姿を見て泣きながらお釈迦さまのところに尋ねました。



完成した納骨壇

お釈迦さまは『あなたの母は罪が重いから、目蓮の一人だけの力では救うことはできない。』

目蓮よ、あなたは八月十五日、安居(僧侶の研修会)の終る自恣の日(反省会)に多くの僧に山海の珍珠をととのえて供養しなさい』とお説きになり、その通りしたところ、母が救われたというウラボン経の物語りがお盆の起源となっております。

この物語りを通して私に教えてくださることは、世の母は子を育てるために沢山の罪をつくるのです。

お互いに子を愛する母情は有難いが、わが子だけに限られ、すべての子に、そして人々に平等にむけられない悲しい現実があることを反省しなければなりません。

親鸞聖人は「小慈小悲もなき身にて」と申されておりますが、阿弥陀如来のお救いは十方衆生一人も残さず、にがさず救わずは佛にならんとお誓い下さるご本願のまことにうなずかさせて頂くことこそ最も大切な尊いことであります。

お盆にはお墓に参り、お寺に参って如来様の限りないおすくひのころ、全ての生きとし生くるものを必ずおすくひ下さる広大な慈悲に耳を傾けましょう。

◎ 納骨堂の納骨壇はいつものようにして用意したらよいのでしょうか。また納骨はいつするのでしょうか。

④ 納骨壇を用意する時期は、特に規定はありません。小樽別院の納骨壇は全部「南無阿弥陀仏」を本尊として用意される。

よろこびにみちた生き方とは、生かされて生きるということである。「念仏の行者は智慧をも慈悲をも捨て、善悪の境界をも捨て、地獄をおさるる心も捨て、極楽を願う心をもすて、一切のことを捨てて申す念仏こそ弥陀超世の本願にまっともかなえ候へ」

本堂破風の白壁(シックイ)が美しくなりました。



ております。この度、新納骨堂(二階)に二一六基の納骨壇が準備されました。早めに申し込んで用意して下さい。納骨の時期は、満中陰(四十九日)までに納めるのが普通です。お骨の一部を分骨して、京都で本山の大谷本願に納めるのも、真宗門徒のたしなみです。

生かされて生きるということは、まかせきって生きるということである。まかせきって生きるということは、おのれを無にして生きるということである。おのれを無にして生きるということは、ただ一つのものにいのちをかけて生きるということである。— 歌人 坂村真民のことば —

小樽別院テレフォン法話

毎日の心のやすらぎを 3分間

電話で聞こう 3分法話

TEL 27-1616

24時間、いつでもダイヤルして下さい。

納骨堂一階完成

この度納骨堂一階東側の内装工事も完成し、美しい納骨壇が設置されました。

今回増設したA型一段式は二基です。これからの申込み頂けるのは

- 一、C型一段式納骨壇(45cm×60cm) 冥加金六六万円
- 二、D型二段式納骨壇(45cm×60cm) 上段 四万五千元 下段 四三万円

申込金二万円を添えて、別院事務所に申込み下さい。場所の選定もします。

お経は長いほど ていねいか？

ある大学病院に、三カ月間、お世話になったことがあります。

そのとき、備えつけのサイドテーブルの奥に、ちいさなご本尊をお納めしました。板を一杯ひっぱるとお内仏になるという仕組みです。そうして『重誓偈』をおつとめしていた。と、いっても大部屋だから声をあげて勤行というわけにはいきません。つぶやき程度の黙読です。

父の命日に『阿弥陀経』を拝読しました。途中でつかえてしまいました。声に出してなら経本などでもまず間違わないのに黙読と比べると、そうはいかないからです。四十数年ぶりのおどろきでした。『阿弥陀経』をたどたどしく拝読し始めたのは、小学校に上がる前後だったらしく、五拜姓のときは、ふりがなつきの折本で三部

平成元年度中(明年三月末日)までに完納された場合は維持冥加金三年間免除です。
C型 三、五〇〇円



完成した納骨壇

D型 三、〇〇〇円
かずに限度がありますので早めに申込み下さい。

経をを拝読できるようになっていました。

当時、ご門徒の法事というほとんど三部経でした。あいだで休みをとるから半日かかり、子供にとつてこれはつらいものでした。

このときの、ご門徒のなぐさめの言葉を忘れません。「つらいであろうが長いからていねいでありがたいのだ」というのでした。『阿弥陀経』の拝読につかえて、おつとめの本をひろげ直したとき、この言葉を思い出したのです。

いうまでもなく、仏事の読経時間が長いほどていねいでありがたい、という素朴な気持ち、すべての場合にあてはめることはできません。子供のころの思い出が言えれば、長い読経のあいだ背後がざわめいていた記憶が多くて、ときには空っぽになっていたことも、めずらしくありませんでした。この十年、仏事に関する本を書くようになったとき、この思い出

茶碗の模様

近頃は世の中が忙しいので人との出合いを粗末にしているんじゃないでしょうか。

毎日お世話になっているご飯のお茶碗の模様が言えますか。

そう言われるとお互に毎度出合いながらはつきりおぼえていませ

ん。毎日キスをしながら、相手の模様が言えない。人間との出合いもそんなことになっているのではな

いでしょ。親と子、友達それぞれに人生の出合いがあるが、もう一度本当の出合いとは、問いたですことが

大切ではないでしょうか。毎年迎えるお盆との出合い、お寺の納骨堂に参り、如来さまの尊

前に参って合掌拝して、私のいのちの来し方、そしていのちの方向を確かめて頂きましょう。

人身受け難し今すでに受く、い

ただいたいのは限りない生命に

ささえられて生かされております。

その私が南無阿弥陀仏の佛法に

あわせていただくとき、尊い如来

さまの撰取のみ手に今はいだかれて

いる幸福者でありました。

「さいちにはなんにもない

よろこび、ほかにはなんにもない

い。ええもわるいもみなとられ

なんにもない。ないがらくなよ

あんなきなよ。なむあみだぶつに

みなどられ。これこそ。あんなきな。なむあみだぶつ。浅原才市。お盆に別院に参って聴聞しよう

総合割烹・総合結婚式場
小樽の味・割烹の味

和楽荘

小樽市花園2丁目(公園通り)
☎(0134)23-6171
支店 和洋レストラン ニュー豊楽
南樽駅下 ☎(0134)23-7561
外商部 各種御会合に割烹の味をお届け致します。
☎(0134)32-8757

葬儀

株式会社 **博禮社**

〒047 小樽市福徳1丁目10番1号(高大通り十字街高築角)
電話(代表)23-0246 番
■ 24時間営業 ■

冠婚葬祭御料理 仕出し会場

ともしほる

ともしほる

小樽市花園4丁目19番14号
電話(23)2267

生花を使って花祭壇

札樽葬祭(株)

TEL 34-0444
ワカマツ1-17-3

花の店 **カトリア(有)**

TEL 23-6487
奥沢1-17-3

私一人・三十代さかのぼれば二十一億四千七百四十八万三千六百四十人。

ご案内

小樽別院 ☎0134-22-0744

お晨朝 毎朝6時30分

常例布教

毎月7日-11日 巡回布教使
13日-16日 //

仏教青年会

毎月2, 3回開催 4時より

仏教婦人会

毎月27日正午(おときあり)
お茶会もあります。

仏教壮年会 毎月6日午後6時

アソカ会 毎月1回

第3木曜日午後2時より

日曜学校

毎月最終日曜日、八時半

カブ・スカウト

毎月第2・4土曜日 2時より

ボーイ・スカウト

今月より

おつとめ教室

最終土曜日 3時~4時
(期間4月~11月迄)

十九日講

奥沢会館 19日正午より

各説教所の案内

- 緑説教所 無量講9日6時より
- 若竹説教所 彰心会7日7時より
- 奥沢説教所 樹心会5日7時より
唯信講10日正午より
- 新光説教所 法友会13日6時より

1989年 年 回 表 (平成元年度)

50	33	27	23	17	13	7	3	1
回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	周忌
昭和15年亡	昭和32年亡	昭和38年亡	昭和42年亡	昭和48年亡	昭和52年亡	昭和58年亡	昭和62年亡	昭和63年亡

皆さん、御家庭の仏壇に置かれている過去帳をもう一度確かめて下さい。

明日を開く
日曜仏教講座

—親鸞聖人の生き方に学ぶ—

毎月第1・第3日曜日 午前9時30分~10時30分

小樽幼稚園 (定員150名)

- 平成2年4月より通園バス運行
- 年間を通じて週1回温水プール遊びをいたします。

—教育目標—

すなおで 明るく 元気な子



- 毎朝み佛さまにお参りするしつけと宗教情操教育を重点としています。
- 明治40年4月10日に開園し、82年の歴史をもつ園です。



別院門信徒の幼児は小樽幼稚園に!!

お問い合わせは下記に電話して下さい。

若松1丁目4番17号 ● 小樽幼稚園 TEL0134-22-6536
● 小樽別院 TEL0134-22-0744